

(評価)
A ……目標値の100%以上の達成率
B ……目標値の80%以上100%未満の達成率
C ……目標値の60%以上80%未満の達成率
D ……目標値の30%以上60%未満の達成率
E ……目標値の30%未満の達成率
－(その他)…調査中及び達成率による評価ができないもの等

施策番号	主要施策	基本施策	担当課	数値目標 番号	数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	28年度 (実績)	評価	成果の状況等(28年度・コメント)
1-(1)	1 入所施設から地域生活への移行の推進	(1)グループホームの整備促進と質的向上	障害福祉事業課(事業)	1-1	グループホーム等の定員 (グループホーム、生活ホーム、ふれあいホームの定員)	人	3,462	3,878	設定なし	4,178	設定なし	4,680	4,712	—	・前年度から、以下のとおり増加となっている。 共同生活住居数(1, 027住居) 114増(対前年度比12%増) 定員 534人増(対前年度比13%増)
1-(1)		(1)グループホームの整備促進と質的向上	障害福祉事業課(事業)	1-2	施設入所者の地域生活への移行者数	人	130	104	200	75	200	200	42	E	・調査の結果、対前年度比44%の減となっている。今後も、地域生活への移行が可能な方に対して支援を行っていく必要がある。
1-(1)		(1)グループホームの整備促進と質的向上	障害福祉事業課(事業)	1-3	施設入所者数	人	4,566	4,518	設定なし	4,497	設定なし	4,530	4,495	—	・調査の結果、前年度から2人減っている。
1-(2)	1 入所施設から地域生活への移行の推進	(2)日中活動の場の充実	障害者福祉推進課(計画) 障害福祉事業課(事業)	1-4	地域生活支援拠点等の整備	箇所	なし	なし	設定なし	0	設定なし	16	0	—	・28年度中に整備完了したものはなかった
1-(2)		(2)日中活動の場の充実	障害福祉事業課(地域)	1-5	地域活動支援センター所在市町村	市町村	35	35	設定なし	33	設定なし	54	35	—	・県地域活動支援センター支援事業補助金の活用等を促し、実施の促進に努める。
1-(3)	1 入所施設から地域生活への移行の推進	(3)地域生活を推進するための在宅サービスの充実	健康福祉指導課	1-6	日常生活自立支援事業利用者数	人	728	884	880	1,059	960	1,040	1,159	A	・平成27年度から全市町村社会福祉協議会で実施する体制になり、利便性が向上したため、利用者数が大幅に増加している。
1-(4)	1 入所施設から地域生活への移行の推進	(4)重度・重複障害のある人等の地域生活移行の推進	障害福祉事業課(県立)	1-7	強度行動障害のある人を支援している施設等の数	箇所	39	39	設定なし	39	設定なし	43	39	—	・26年10月の調査では39施設305人であったが、28年10月では39施設326人となり、施設数は増えていないが、利用者数は21人の増となっている。
1-(4)		(4)重度・重複障害のある人等の地域生活移行の推進	障害福祉事業課(県立)	1-8	「強度行動障害のある方の支援者に対する研修事業」受講者数(累計)	人	0	16	32	32	48	64	48	A	・計画に沿って着実に研修を実施している。
1-(4)		(4)重度・重複障害のある人等の地域生活移行の推進	障害福祉事業課(療育)	1-9	重症心身障害児者対応可能な通所施設設置箇所数	箇所	33	39	34	35	34	34	39	A	・重症心身障害児者対応可能な通所施設の指定が4件あり、目標以上の実施箇所数を達成した。
1-(5)	1 入所施設から地域生活への移行の推進	(5)入所施設の有する人的資源や機能の活用	障害福祉事業課(事業)	1-10	指定障害者支援施設の必要定員総数	人	4,737	4,716	設定なし	4,673	設定なし	4,700	4,683	—	・調査の結果、前年度から10人増加している。
1-(5)		(5)入所施設の有する人的資源や機能の活用	障害者福祉推進課(計画) 障害福祉事業課(事業)	1-11	地域生活支援拠点等の整備(再掲)	箇所	なし	なし	設定なし	0	設定なし	16	0	—	・28年度中に整備完了したものはなかった
1-(6)	1 入所施設から地域生活への移行の推進	(6)県立施設のあり方	障害福祉事業課(県立)	1-12	千葉県袖ヶ浦福祉センターの必要入所定員総数	人	170	170	設定なし	150	設定なし	90	140	—	・養育園利用者の移行は概ね順調に進んでいるが、更生園利用者の移行は、移行を希望していない保護者も多いことから、引き続き情報提供に努めたい。
7-(2)	7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	(2)地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進	障害福祉事業課(地域)	7-1-(1)	発達障害者支援センター運営事業(研修等受講者数)	人	5,977	7,907	9,000	8,314	9,000	9,000	6,080	C	・講師派遣を含め270回の研修を実施したが、目標の受講者数を確保できなかったため今後も周知に努める。
7-(2)		(2)地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進	障害福祉事業課(地域)	7-1-(2)	発達障害者支援センター運営事業(相談件数(地域相談支援機関での対応を含む)(再掲))	件	2,752	2,594	設定なし	6,525	設定なし	3,500	9,863	—	・27年度から地域相談支援機関での相談件数を把握しているが、相談件数は飛躍的に伸びていることから、更に地域における相談支援の充実に努める。
7-(2)		(2)地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進	障害者福祉推進課(精神)	7-2	高次脳支援拠点機関数	箇所	3	3	3	3	3	3	3	A	・県内3箇所(中央、北西部、南部)に支援拠点機関を設置。
7-(2)		(2)地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進	障害者福祉推進課(精神)	7-3	高次脳機能障害相談件数	件	9,244	16,762	9,300	19,797	9,300	9,300	12,695	A	・上記3機関で、相談に対応。他に、研修や啓発等の活動もしており、件数が増加している。

(評価)
A ……目標値の100%以上の達成率
B ……目標値の80%以上100%未満の達成率
C ……目標値の60%以上80%未満の達成率
D ……目標値の30%以上60%未満の達成率
E ……目標値の30%未満の達成率
－(その他)…調査中及び達成率による評価ができないもの等

施策番号	主要施策	基本施策	担当課	数値目標 番号	数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	28年度 (実績)	評価	成果の状況等(28年度・コメント)
7-(3)	7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	(3)通所サービスだけでは支援が困難な障害に対する支援の推進	障害福祉事業課(事業)	7-4	短期入所事業者数	箇所	134	138	137	144	140	143	153	A	・事業所数が9増加し、計画値(目標)を上回っている。
7-(4)	7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	(4)ひきこもりに対するアウトリーチ型支援の推進	障害者福祉推進課(精神)	7-5	ひきこもりサポーター養成者数	人	なし	33	50	40	75	100	0	E	・平成28年度は、養成研修は実施せず。フォローアップ研修のみ行った。
7-(4)		(4)ひきこもりに対するアウトリーチ型支援の推進	障害者福祉推進課(精神)	7-6	ひきこもり地域支援センターの相談見込み件数	件	483	904	800	1,187	900	1,000	1,011	A	・毎月100件前後の相談を受理。本人からが [※] 80%。ひきこもり本人は男性が80%。20代が55%。
7-(4)		(4)ひきこもりに対するアウトリーチ型支援の推進	障害者福祉推進課(精神)	7-7	ライトハウスちばの相談件数(ひきこもりに関するものに限る。)	件	297	517	600	220	700	800	177	E	・件数減少の理由:次につなげるための実質的な相談対応を主とし、傾聴のみの相談を整理したため。結果、新規相談は増加した。
7-(4)		(4)ひきこもりに対するアウトリーチ型支援の推進	障害者福祉推進課(精神)	7-8	アウトリーチ型の訪問件数	件	15	19	50	10	100	200	12	E	・本人及び家族との日程調整がうまくいかずキャンセルが重なり、件数が伸びなかった。
8-(1)	8 その他各視点から取り組むべき事項	(1)人材の育成と確保	障害者福祉事業課(地域)	8-1-(1)	重度訪問介護従事者の養成(強度行動障害を除く)(養成人数)	人	22	19	40	16	40	40	8	E	・目標を上回る研修回数を確保したものの、受講希望者が減少しているため今後も周知に努める。
8-(1)		(1)人材の育成と確保	障害者福祉事業課(地域)	8-1-(2)	重度訪問介護従事者の養成(強度行動障害を除く)(研修回数)	回	7	7	4	6	4	4	6	A	・目標を上回る研修回数を確保した。
8-(1)		(1)人材の育成と確保	障害者福祉事業課(地域)	8-2-(1)	同行援護従事者の養成(養成人数)	人	967	880	500	432	500	500	555	A	・目標を上回る受講者数を確保した。
8-(1)		(1)人材の育成と確保	障害者福祉事業課(地域)	8-2-(2)	同行援護従事者の養成(研修回数)	回	44	42	25	31	25	25	30	A	・目標を上回る研修回数を確保した。
8-(1)		(1)人材の育成と確保	障害者福祉事業課(地域)	8-3-(1)	強度行動障害支援者の養成(養成人数)	人	なし	77	240	337	240	240	1422	A	・各種障害サービスの加算の要件に組み込まれたことから、目標を大幅に上回る受講者数を確保した。
8-(1)		(1)人材の育成と確保	障害者福祉事業課(地域)	8-3-(2)	強度行動障害支援者の養成(研修回数)	回	なし	1	2	5	2	2	6	A	・目標を上回る研修回数を確保した。
8-(1)		(1)人材の育成と確保	障害者福祉事業課(地域)	8-4-(1)	ガイドヘルパーの養成(養成人数)	人	296	267	500	256	500	500	131	E	・受講希望者は大幅に減少しているが、今後も周知に努める。
8-(1)		(1)人材の育成と確保	障害者福祉事業課(地域)	8-4-(2)	ガイドヘルパーの養成(研修回数)	回	20	17	25	18	25	25	11	D	・受講希望者は大幅に減少しているが、今後も周知に努める。

(評価)
A ……目標値の100%以上の達成率
B ……目標値の80%以上100%未満の達成率
C ……目標値の60%以上80%未満の達成率
D ……目標値の30%以上60%未満の達成率
E ……目標値の30%未満の達成率
－(その他)…調査中及び達成率による評価ができないもの等

施策番号	主要施策	基本施策	担当課	数値目標 番号	数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	28年度 (実績)	評価	成果の状況等(28年度・コメント)
8-(1)		(1)人材の育成と確保	障害者福祉事業課(地域)	8-5-(1)	サービス管理責任者の養成(養成人数)	人	664	660	550	659	550	550	720	A	・目標を上回る受講者数を確保した。
8-(1)		(1)人材の育成と確保	障害者福祉事業課(地域)	8-5-(2)	サービス管理責任者の養成(研修回数)	回	1	1	1	1	1	1	1	A	・目標を上回る研修回数を確保した。
8-(1)		(1)人材の育成と確保	医療整備課	8-6-(1)	医師及び看護師の確保定着(医師修学資金の貸付を受けた医師数)	人	1	4	増加を 目指します	13	増加を 目指します	増加を 目指します	16	A	・平成28年度に医師修学資金の貸付を受けた医師数が16人増加し、合計29人となった。
8-(1)		(1)人材の育成と確保	医療整備課	8-6-(2)	医師及び看護師の確保定着(養成所卒業生の県内就業率(%))	%	66.2	67.7	増加を 目指します	67.3	増加を 目指します	増加を 目指します	67.3	—	・全体としては大きな変化がないが、3年課程の県内就業率は増加し、助産師課程が減少した。
8-(1)		(1)人材の育成と確保	医療整備課	8-6-(3)	医師及び看護師の確保定着(看護職員の離職率(%))	%	12.4	12.8	低下を 目指します	11.9	低下を 目指します	低下を 目指します	11.7	A	・「28年度」の11.7%は平成27年度の離職率。同様に27年度、26年度もそれぞれ平成26年度、平成25年度の率。(日本看護協会発表)
8-(1)		(1)人材の育成と確保	健康福祉指導課	8-7	福祉・介護人材確保対策事業の事業数	件	139	150	200	134	200	200	132	C	・市町村事業への移行に向け、引き続き、市町村に働きかけを行っているところである。
8-(3)	8 その他各視点から 取り組むべき事項	(3)保健と医療に関する 支援	障害福祉事業課(指導)	8-8	ピーパー号による障害者支援施設及び 障害児入所施設での歯科検診実施率 (%)	%	9.1	14.8	10	12.5	11	12	15.5	A	H28年度は実施施設数84のうち、入所施設は13であり、入所施設は特に歯科受診が困難であるため、引き続き実施率の向上に努める。
8-(4)	8 その他各視点から 取り組むべき事項	(4)スポーツと文化活 動に対する支援	障害者福祉推進課(障害)	8-9	障害者スポーツ指導員の養成者数	人	57	48	50	41	50	50	35	C	障害者スポーツ指導者養成講習会を11月に開催した。
8-(5)	8 その他各視点から 取り組むべき事項	(5)住まいとまちづくりに 関する支援	公園緑地課	8-10-(1)	障害者駐車場が整備されている県立公園 (公園数)	箇所	11	12	13	13	13	14	13	A	・平成28年度は、障害者駐車場の新規整備を 予定していなかったため、整備済公園数は目標 通り13公園のまま推移している。
8-(5)		(5)住まいとまちづくりに 関する支援	公園緑地課	8-10-(2)	障害者駐車場が整備されている県立公園 (整備率(%))	%	79	86	93	93	93	100	93	A	・駐車場のある14の県立都市公園に対し、13 公園で整備されている。
8-(5)		(5)住まいとまちづくりに 関する支援	公園緑地課	8-11-(1)	多機能トイレが整備されている県立公園 (公園数)	箇所	10	10	11	10	11	12	12	A	・平成28年度は、平成27年度より実施してき た多機能トイレを含めたトイレ建築工事の完了 に加え、トイレ建替工事に伴い多機能トイレを 新たに1公園で整備したことから、2公園につ いて新たに供用を開始した。
8-(5)		(5)住まいとまちづくりに 関する支援	公園緑地課	8-11-(2)	多機能トイレが整備されている県立公園 (整備率(%))	%	67	67	73	67	73	80	73	A	・15の県立都市公園に対して11公園で整備さ れている。
8-(5)		(5)住まいとまちづくりに 関する支援	交通計画課	8-12	主要駅エレベーター・エスカレーター の整備率(%)	%	90.3	92.2	92	93.5	93	94	94.9	A	・3市(3駅エレベーター4基)に対し補助を行いま した。
8-(5)		(5)住まいとまちづくりに 関する支援	交通計画課	8-13	乗合バス車両のノンステップバスの導入 率(%)	%	44.5	51.3	50.5	54.7	53.5	56.5	調査中 (10月判明 見込)	—	・ノンステップバス16台(5事業者)に対し補助を 行いました。
8-(5)		(5)住まいとまちづくりに 関する支援	住宅課	8-14	県営住宅のうちバリアフリー化された住 宅数	戸	4,220	4,296	4,401	4,401	4,508	4,611	4,508	A	計画通り、バリアフリー化された県営住宅を整 備した。
8-(6)	8 その他各視点から 取り組むべき事項	(6)暮らしの安全・安心 に関する支援	防災政策課	8-15	避難行動要支援者名簿に基づく個別計 画策定着手市町村数	市町村	なし	14	28	22	42	54	今後調査	—	今後、平成29年4月1日時点の状況の調査予 定。(昨年は国からの結果送付が12月頃)

(評価)
A ……目標値の100%以上の達成率
B ……目標値の80%以上100%未満の達成率
C ……目標値の60%以上80%未満の達成率
D ……目標値の30%以上60%未満の達成率
E ……目標値の30%未満の達成率
－(その他)…調査中及び達成率による評価ができないもの等

施策番号	主要施策	基本施策	担当課	数値目標 番号	数値目標	単位	25年度 (実績)	26年度 (実績)	27年度 (目標)	27年度 (実績)	28年度 (目標)	29年度 (目標)	28年度 (実績)	評価	成果の状況等(28年度・コメント)
8-(6)		(6)暮らしの安全・安心に関する支援	障害者福祉推進課(精神)	8-16	災害派遣精神医療チーム(DPAT)体制整備運営(検討)委員会の開催見込み数	回	なし	3	2	2	1	1	0	E	・平成28年度の開催はなかった。
8-(6)		(6)暮らしの安全・安心に関する支援	健康福祉指導課	8-17	日常生活自立支援事業利用者数(再掲)	人	728	884	880	1,059	960	1,040	1,159	A	・平成27年度から全市町村社会福祉協議会で実施する体制になり、利便性が向上したため、利用者数が大幅に増加している。